

2023年

安全報告書



島原鉄道株式会社

この安全報告書は、当社における鉄道輸送の安全の確保のための取組や安全の実態をまとめたものです。ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

1. 利用者はじめ地域の皆様へ

日頃より島原鉄道をご利用頂きありがとうございます。

また、鉄道事業に対しまして、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

当社は、常にお客様への安全確保を第一の使命に掲げ、地域の皆様に安全で快適な輸送を提供する為に法令遵守のもとに安全輸送及びサービスの向上に努めております。

この報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について公表するものです。

今後とも、安全で安心できる鉄道を目指してまいりますので、ご利用のお客様並びに沿線の皆様のご理解を頂くと共に、皆様からのご意見を頂ければ幸いです。

島原鉄道株式会社
代表取締役社長 永井和久

2. 輸送の安全確保に関する基本的な考え方

(1) 安全基本方針

当社の経営理念の第一は、安全輸送の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、全従業員に周知し安全輸送に努めています。

- ① 一致協力して輸送の安全確保に努める。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともに、これを遵守し厳正に職務を遂行する。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するように努める。
- ④ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに適切な処置をとる。
- ⑤ 情報は漏れなく迅速正確に伝え、透明性を確保する。
- ⑥ 常に問題意識を持ち、必要な変革に取り組む。

(2) 安全目標(2022)

- 責任事故を発生させない
- 労働災害の撲滅

①安全目標に対する重点施策

部 門	重点施策
運 転 ・ 運 輸 部 門	○ヒューマンエラー防止への取組み ○ヒヤリハット情報の共有・活用
車 両 部 門	○確認の励行と連絡の徹底
保 線 部 門	○ヒューマンエラーの防止
電 気 部 門	○運転保安設備の不具合箇所の早期発見

②安全目標及び重点施策に対する取組みとその達成状況

部 門	目標達成のための具体的取組み	達成状況
安 全 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○点呼、ミーティングにおける作業手順の再確認と徹底 ○作業前ミーティング等における労働安全衛生に対する注意喚起の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○責任事故 0 件 ○労災事故 0 件
運 転・運 輸 部 門	<ul style="list-style-type: none"> ○添乗指導計画に基づく指導強化 ○乗務員へのドライブレコーダー活用による情報共有と指導を徹底する ○ヒューマンエラーが発生した場合は全職場で情報共有を行い再発防止に努める ○ヒヤリハット情報を提出しやすい環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ○添乗指導計画に基づく指導強化ができた ○ドライブレコーダーを活用し、乗務員との情報共有及び安全対策ができた ○ヒューマンエラー1件発生を全職場で共有し、再発防止に努めた ○ヒヤリハット情報7件（前年度実績4件）を全職場で共有し、活用した
車 両 部 門	<ul style="list-style-type: none"> ○朝礼、終礼時及び昼休み前後に業務の進捗状況について報告を行う ○休日前後は当番者間で業務の引継ぎを確実にを行う 	<ul style="list-style-type: none"> ○各自必要に応じ報告、伝達が行われた ○「報告・連絡・相談」を徹底するための教育を実施した
保 線 部 門	<ul style="list-style-type: none"> ○確実な列車退避を行う ○列車間合いチェックリストを活用して作業の安全を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ○作業前ミーティングにおいて、列車間合いを確認したため、確実な列車退避が行われた ○現地で列車間合いチェックリストに記入したことで列車進来を明確に確認できて、ヒューマンエラーを防止することができた
電 気 部 門	<ul style="list-style-type: none"> ○運転保安設備の検査時における点検強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○踏切関係障害発生件数 12 件 <ul style="list-style-type: none"> ・設備機器 9 件（前年度 14 件） ・落雷 3 件（前年度 0 件） ○信号関係障害発生件数 9 件 <ul style="list-style-type: none"> ・設備機器 6 件（前年度 6 件） ・落雷 3 件（前年度 1 件）

3. 輸送の安全の実態

(1) 鉄道運転事故の発生状況

年 度	2020	2021	2022
事故件数	1	2	0
死傷者	0	3	0
うち死亡者	0	0	0

事故は発生していません。

(2) インシデントの状況

インシデントは発生していません。

(3) 輸送障害（30分以上の列車遅延や運休）の発生状況

2022年度、30分以上の列車の遅延や運休が発生した件数は以下のとおりです。

項目	件数	特記すべき輸送障害
自然災害等	4	倒木(1)、雷害(2)、雪害(1)
施設・設備故障など	1	ポイント故障
車両故障		
係員		
第三者障害など	1	外的要因

(4) 行政指導等

2022年度の行政指導等はありませんでした。

4. 安全確保への取組み

(1) ハード面での取組み

① 施設整備事業

当社では、国・県・沿線自治体からの支援を頂き施設整備事業を実施し、設備の更新・改善及び踏切事故防止対策として踏切保安設備の整備を行い安全輸送の向上を図っています。

項目	2021年度(実績)	2022年度(実績)	2023年度(計画)
分岐器の重軌条化	—	—	—
橋梁の改修	6箇所	6箇所	—
レール交換	1,370.50m	1,873.84m	600.00m
枕木交換(TPCマクラギ・合成マクラギ・木まくらぎ)	1,608本(合計) (1,482本TPC) (126本合成)	2,947本(合計) (2,786本TPC) (161本合成)	44本(合計) (—TPC) (44本合成)
踏切遮断機更新	15台	31台	—
踏切警報機更新(LED全方向型)	12箇所	26箇所	—
踏切制御子更新	10箇所	17箇所	—
踏切遮断反応灯更新	12箇所	24箇所	—
踏切器具箱更新	5箇所	6箇所	4箇所
信号機構更新(LED化)	4箇所	6箇所	—
通信ケーブル更新	—	—	—
踏切保安設備の整備	—	—	—

※2023年度は、レール交換と同区間の枕木交換(合成マクラギ44本)を計画しています。

② 安全のための支出

2022年度の実績として、線路設備と信号設備に380百万円 また、車両設備に35百万円 合計415百万円を投資しました。

【 安全設備整備の状況 】



第 6 1 号踏切警報機（施工前）



第 6 1 号踏切警報機（施工後）



有明湯江駅～大三東駅間
レール交換・マクラギ交換
（施工前）



有明湯江駅～大三東駅間
レール交換・マクラギ交換
（施工後）



神代駅～多比良駅間
レール交換・マクラギ交換
（施工前）



神代駅～多比良駅間
レール交換・マクラギ交換
（施工後）

(2)ソフト面での取組み

①教育・訓練計画に基づき、従事員への教育・訓練を実施し、安全意識の高揚を図りました。

○2022年度は、「鉄道災害に係る覚書」に基づき、踏切事故発生を想定し連絡通報訓練及び乗客の迅速な救助活動を行うため消防署と合同訓練を実施しました。

●土砂災害発生想定訓練(2022年12月9日 47名参加)



土砂災害想定訓練①



土砂災害想定訓練②



土砂災害想定訓練③



土砂災害想定訓練④

●鉄道警察隊・島原警察署との合同による不審者対応訓練(2022年12月14日 32名参加)

不審者に対する初動対応能力の向上を図る為に、鉄道警察隊・島原警察署と合同で車内での不審者遭遇を想定した実技訓練を実施しました。



不審者対応訓練①



不審者対応訓練②



不審者対応訓練③



不審者対応訓練④

○その他訓練等

- 県央消防本部および島原消防本部との合同による緊急時の車両からの乗客救助方法の確認
(2022年11月22日 24名参加)



消防合同訓練①



消防合同訓練②

- AED 実技訓練 (2022年11月22日 11名参加)



AED 実技訓練①



AED 実技訓練②

- 島原駅消防訓練（2022年12月6日 21名参加）
待合所での火災を想定した避難訓練および消火器の取扱い訓練を実施しました。



島原駅消防訓練①



島原駅消防訓練②

- 諫早駅消防訓練（2022年11月16日 2名参加）
駅ビルのテナント事業者および駅ビル管理会社、JR九州と合同で消火器の取扱い訓練を実施しました。



諫早駅消防訓練①



諫早駅消防訓練②

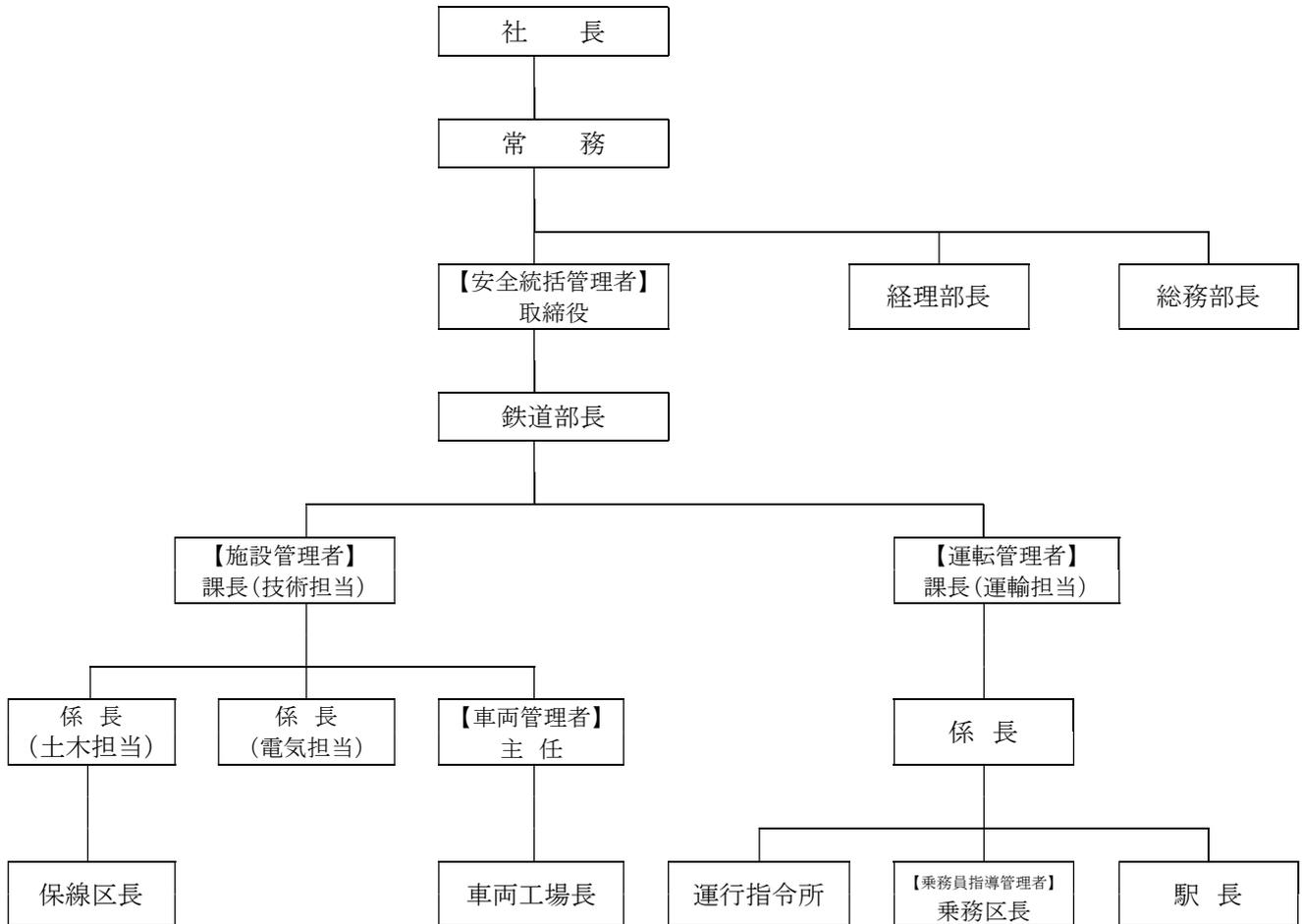
また、運輸・運転部門、車両部門、保線部門については、各々の部門において訓練・教育を実施しています。

- ②毎月、社長をはじめ会社幹部による職場巡視を行い、現業部門との対話を行いながら安全管理状況等の確認を行ないました。

5. 安全管理体制

(1) 安全管理組織

当社では、平成18年10月に「安全管理規程」を制定し、社長をトップとする安全管理組織を構築して運用しています。この組織の中で、安全統括管理者、運転管理者、その他管理者等が、それぞれの責務を明確にした上で、安全確保の為に役割を担っています。



(2) 各管理者の役割

役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
【安全統括管理者】 取締役	輸送の安全確保に関する業務を統括管理する。
【運転管理者】 鉄道課長	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
【乗務員指導管理者】 乗務区長	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
【施設管理者】 鉄道課係長(技術担当)	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
【車両管理者】 鉄道課主任	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
総務部長	輸送の安全確保に必要な設備投資、予算、人事に関する事項を統括する。
経理部長	輸送の安全確保に必要な設備投資、予算、に関する事項を統括する。

6. 利用者・住民の皆様との連帯

(1) ご意見箱の設置

利用者の皆様の声をお聞きする為に有人駅(本諫早・多比良・島原・島原船津)に、ご意見箱を設置し、安全輸送及びサービスの向上に反映させています。

(2) こども110番の駅

職員駅では、「こども110番の駅」として地域の子供達を守る為の取組みを行っています。

[主旨]

- ・「こども110番の駅」では、不審者(犯人)から逃れるために逃げ込んできたこどもの安全を確保します。また、犯罪発生時のみではなく、日頃から安全への配慮を心がけ、安全な地域づくりに貢献するとともに、こどもにとって楽しい駅作りを目指します。
- ・「こども110番の駅」のステッカーを見て、こどもが駅に助けを求めに来た場合、こどもを保護し、こどもに代わって110番通報を行うなどの対応をとります。
- ・実施駅・・・本諫早駅・島原駅・島原船津駅

(3) 踏切事故防止のお願い

踏切に入る前には必ず一旦停止し左右の安全確認を行って通行して下さい。

2022年度は、直前横断による遮断桿折損が8件発生しています。重大な事故に繋がりますので、警報音が鳴りだしたら踏切の通行はしないで下さい。

列車の安全な輸送にご協力いただくとともに、鉄道施設内での異常等を発見された場合は直ちに運行指令所(TEL0957-62-6623)までご連絡くださいますようお願いいたします。

(4) ホームにおけるお客様転落事故防止等について

① 「移動用円滑化の促進に関する法律」に基づいて、駅・ホーム等の改良工事に合わせて整備を推進しています。

② 視覚に障害をお持ちの利用者やスマートフォンを見ながらのホーム転落事故が全国的に増加しております。当社といたしても、注意喚起やホーム監視等に努めてまいりますが、視覚に障害をお持ちの利用者を認めた場合は、「声かけ・見守り」を行って頂き、万が一危険であると思われる場合は、係員、運行指令所までご連絡下さいますようお願いいたします。また、ホーム上でのスマートフォン等を見ながらの歩行は大変危険ですので、お控えくださいますようお願いいたします。

事故防止と安定輸送に、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

7. 安全報告書へのご意見等に関する連絡先

安全報告書へのご感想、当社への安全の取組に対するご意見をお寄せ下さい。

島原鉄道 鉄道部 鉄道課
TEL. 0957-62-2232 FAX. 0957-63-5712
E-mail train@shimatetsu.co.jp
■ 月～金 9:00～17:00(祝休日を除く)